

カフ付きカテーテル挿入された患者様へ

1 カフ付きカテーテルについて

カフ付きカテーテルは、長期に使用可能な透析用留置カテーテルです。内シャント造設、修復が不能な場合、動脈表在化で返し静脈の穿刺困難な方に適用します。また、内シャント造設から使用可能になるまでのつなぎとして使用する場合もあります。

2 日常管理について

＜カテーテル取り扱い上の約束事項＞

- ・刃物の使用を禁止とします。カテーテルそのものを傷つけたり、切断したりする危険性があります。
- ・カフ付きカテーテルの消毒は、基本透析日に透析室で行います。密封が保たれている場合はカテーテルの消毒は不要です。汗をかいたり、入浴後、ドレッシング材が剥がれたり、濡れたりした時に消毒が必要です。

（必要物品）

- ・1%クロルヘキシジングルコン酸塩液
- ・滅菌綿棒
- ・出口部保護用ガーゼ
- ・絆創膏（大）
- ・未使用のディスポーザブル手袋
- ・固定テープ

＜消毒の手順＞

1. 消毒操作の前に必ず流水下による手洗いを行ってください。
2. 消毒液使用の場合：消毒液がついた綿棒で各出口部につき綿棒1本を使用し消毒してください。出口部の内側を先に行い、綿棒の消毒面を換えて外側を消毒します。（消毒時、カテーテルを少し引きながら皮下に隠れた箇所を拭うように行ってください。）



3. 出口部を絆創膏等にて保護し、テープでしっかり固定します。



4. カテーテル赤と青の部分は、ガーゼでしっかり包み、テープで固定します。

<観察>

出口部の出血、痛み、発赤、浸出液、痒み、熱がないか、観察し異常があればスタッフにお知らせ下さい。

<入浴>

入浴開始は、術後2週間程度で創部の状態をみて主治医が判断します。

入浴は、半身浴になります。背中のみシャワー、洗髪は可能となります。

防水性のあるもので覆うか又は保護するもの（ビニール袋等）を使用して下さい。

入浴後は、ドレッシング材を外し、消毒の手順で消毒をし、カテーテルをガーゼで保護します。

<注意!!>

出口部感染を認めた場合、入浴は許可が出るまで中止してください。